



# 公募推薦早期対策講座 英語

2024年8月

講師：藤田 健（代々木ゼミナール）

<推薦入試についての基本情報>

(1)解答形式 全問マークシート

(2)問題構成 大問3つ

[I]長文読解 空欄4問、下線言換5問、内容一致5問

[II]文法語法 空欄5問

[III]英作文表現 空欄6問、下線部言換3問

(3)オススメの解く順番 [II]→[III]→[I] (先に知識問題片づける!)

[II]すぐに意味をとろうとせずに空欄付近だけ見て解けないかチェック!

問1 If it ( ) fine tomorrow, you will be able to see Mt. Fuji from here.

- ① is ② were ③ will be ④ would

☆1 時や条件の副詞節内は未来のことであっても現在形

After[Before, As soon as, By the time] he comes back tomorrow, I will open the box.

「彼が明日戻ってきた後[前、すぐに、までには]」その箱を開けるだろう。

問2 Sydney, ( ) is the largest city in Australia, is popular among tourists.

- ① what ② where ③ which ④ who

☆2 「オウムあと1」の後は不足あり(who, whom, what, which)

This is the place which(xwhere) I like. (like の目的語が不足)

問3 It is very kind ( ) you to say so.

- ① about ② of ③ to ④ with

☆3 人の性質を表す形容詞の時は「It is 形容詞 of 名詞 to do」

It was foolish[wise, careless, kind] of you to do so.

「君がそうしたのは愚か[賢い、不注意、新説]だった」(お菓子中心)

問4 I'm a bit lost. Can you tell me how to ( ) to the station?

- ① achieve ② arrive ③ get ④ reach

☆4 動詞は意味だけでなく前置詞を伴うのかも覚えていく

achieve=attain=complete 名詞「名詞を成し遂げる」

arrive at 名詞=get to 名詞=reach 名詞「名詞に到着する」

答 問1① 問2③ 問3② 問4③

[III]日本文も英文も読む必要なし。下線だけを見ていく

(a)日本の墨の歴史は、紀元 610 年に始まったそうです。その時、その<sup>(1)</sup>製法は曇微という名前の高麗の僧によって、日本に<sup>(2)</sup>伝えられました。墨の生産は、文字を書き文章を記録するのに<sup>(3)</sup>必要不可欠で、700 年代初めの遷都とともに奈良に移り、以来約 1300 年続いています。

794 年に都が京都の地へ移った後も、奈良は多くの仏教寺院のある<sup>(b)</sup>宗教的に重要な場所であり続けました。写経などの作業には多くの墨が必要とされ、(奈良の近くには)墨の<sup>(4)</sup>原料である炭の煤を供給する森林資源が豊富にありました。奈良は、それゆえに、高品質の墨の産地であり続けました。奈良、平安、鎌倉時代には、松煙—松からの煤、それは樹脂の含有量が高いのですが、これが奈良墨にとって好ましい素材でした。

(a)It is said that the history of Japanese ink (sumi) began in AD 610, when the<sup>(1)</sup>production ( )<sup>(2)</sup>were ( ) into Japan by a Korean monk named Doncho. The production of ink, <sup>(3)</sup>( ) for writing characters and making written records, moved to Nara with the relocation of the capital at the beginning of the 700s and has continued there for about 1300 years since.

Even after the capital moved to the Kyoto area in 794, Nara remained<sup>(b)a</sup>religiously important place with many Buddhist temples. Much ink was needed for tasks such as sutra transcription, and there were abundant forest resources nearby to provide the carbon soot that is the ink's<sup>(4)</sup>( ) material. Nara, therefore, remained a site of high-quality ink production. In the Nara, Heian and Kamakura periods, shoen — soot from pine, which has a high resin — was the preferred material for Nara ink.

問1 線(1)~(4)の英訳を完成させるのに最適なものを選べ。

- |             |            |             |           |
|-------------|------------|-------------|-----------|
| (1)①methods | ②orders    | ③rules      | ④theories |
| (2)①advised | ②counted   | ③introduced | ④shifted  |
| (3)①eager   | ②essential | ③intense    | ④patient  |
| (4)①aged    | ②new       | ③pressed    | ④raw      |

- |            |      |       |       |    |
|------------|------|-------|-------|----|
| (1)①方法     | ②命令  | ③規則   | ④理論   | 答① |
| (2)①忠告した   | ②数えた | ③導入した | ④変化した | 答③ |
| (3)①切望している | ②必要な | ③集中的な | ④忍耐強い | 答② |
| (4)①高齢の    | ②新しい | ③押された | ④生の   | 答④ |

\*選択肢の単語が例年よりやや易しめになっていますが、難易度は変更されることが多いので油断せずに単語を固めていこう！

問2——線(a)とほぼ同じ内容を表す英文にするために空欄に入るものを選べ。

The history of Japanese ink(sumi) ( ) in AD 610

- ① is said beginning      ② is said to have begun  
③ was said beginning    ④ was saying to begin

☆5 「S が do したと言われている。」の2通り

- (1)It is said that S+過去形      (2)S is said to have+過去分詞

例 It is said that he cried last night. = He is said to have cried last night.

\* 「to have 過去分詞」は「過去」を表す

問3——線(b)とほぼ同じ内容を表す英文にするために空欄に入るものを選べ。

a place (A) religious (B)

- ①(A)for (B)importance      ②(A)in (B)important  
③(A)of (B)importance      ④(A)to (B)important

☆6 「of+抽象名詞」で「~を持っている」

of importance 「重要性を持っている」 / of value 「価値を持っている」

答 問2② 問3③

<付録1>最新年度で出題された語彙

abundant 「豊富な」	achieve 「獲得する」
avoid 「避ける」	application 「適応」
capital 「首都」	character 「文字」
common 「一般的な」	consider 「考える」
constant 「一定の」	content 「中身」
decrease 「減る」	drift 「漂う」
drown 「おぼれ死ぬ」	effect 「効果」
environment 「環境」	federal 「連邦の」
government 「政府」	honor 「名誉」
identify 「正体をつきとめる」	in spite of~ 「~にも関わらず」
intend 「意図する」	likely 「可能性が高い」
military 「軍事の」	obtain 「獲得する」
priority 「優先」	quotation 「引用」
religion 「宗教」	remain 「ままである」
revive 「生き返る」	state 「①状態②国③言う④州」
therefore 「それゆえ」	

## オススメの参考書や問題集とその使い方、学習方法

### ①単語集 システム英単語 BASIC(駿台文庫)

第1、2、3章の語をまずは覚えたい(その後は5章。4章は後回しでよい)。英単語を見て日本語の赤字になっている意味が言えればOK。最初は上に例文があるのでそれを見ながらテストしていき慣れてきたら例文なしでも言えるかチェックしていく。単語は最重要課題なので一日30分は必ずとる。電車の中でとか毎日単語を見る時間帯を決めて習慣にしてしまおう。一日で20個覚えて、次の日にその20個を確認しながら次の20個を覚えるという調子でテストしていく。音声も使った方が暗記しやすいのでスマホを使って耳で発音を確認したい。どうしても覚えにくい単語は何回か書いてみたり、自分で例文を作ったり、その単語から連想するものを書き込んでいこう。

### ②英語長文レベル別問題集 3標準編(東進ブックス)

#### 英語長文レベル別問題集 4中級編(東進ブックス)

「問題を解く→答え合わせをする→構造分析と全訳を見ながらもう一度英文全体を読んでみる(又は音源で聴く)→答の語句リストを使って意味が言えるかチェックする」を繰り返す。英語が苦手な人で単語がわからなすぎる人は解答の語句リストのところだけを先に見てから解いてもよい。1つの英文は最低5回、出来れば10回読むこと。3と4がレベルとしては一番近いが、英語を基礎から始めた人は「英語長文レベル別問題集2基礎編」からスタートしてもよい。

また設問はないがどんどん英文を読みたい人には「速読英単語入門編(Z会)」「速読英単語必修編(Z会)」がオススメ。英文の次のページに語句リストがあるので先にそれをチェックしてから英文を読み、わからなくなったら右にある全訳を見てよい。じっくり英文を読むというよりは様々なテーマの英文に触れ、長文の中で単語を覚えていくことが大切。必修編が入試に近いレベルだが、基礎から固めたい人は入門編から始めてよい。

### ③文法 Next Stage 英文法・語法問題 入試英語頻出ポイント218の征服

(桐原書店)

Part1の文法をまずは仕上げる。左が問題で右が解説と答えがある形式になっているが、最初に右の解説や答えを見て構わない。各文法分野でどういう大事なポイントがあるのかをチェックしてしまう。何回か読んである程度頭に入ったと思ったら左の問題を解いて確認してみる。最初は正答率が低くても問題ない。繰り返していくうちに定着することに意味がある。最終的にはPart2の語法やPart3の熟語も覚えてほしいが、今は欲張らずにPart1の文法を固める。

## 入試英語で必須の重要多義語 21

(1)allow ゴロ「あゆ下降」(優しく対応するイメージ)

- ①与える②許す③可能にする④考慮する

例 1 allow him the money 「彼にその金を与える」

例 4 allow for the delay 「その遅れを考慮する」

\* 英文では③が一番多い(②よりも③が優先)

名詞形 allowance 「①手当②許可③可能④考慮」で①が多いが  
make allowance for~は「~を考慮する」

(2)appreciate ゴロ「豹カンカン」(目的語の本当の価値をわかる)

- ①評価する②鑑賞する③感謝する

例 1 appreciate his effort 「彼の努力を評価する」

例 2 appreciate the sculpture 「その彫刻を鑑賞する」

例 3 appreciate your help 「君の助けに感謝する」

\* thank の目的語は「人」のみ、appreciate 物は可

(3)attend ゴロ「出世中」(「～に気持ちを傾ける」イメージ)

- ①出席する②世話する③注意する(①のみ前置詞不要)

例 1 attend the funeral 「葬式に出席する」

例 2 attend to the patient 「その患者の世話をする」

例 3 attend to what he says 「彼が言うことに注意する」

(4)bear ゴロ「もう旗」(「何かを中に抱える」イメージ)

- ①持つ②生む③運ぶ④耐える (②以外では pp は borne)

例 1 bear relations 「関係を持つ」

例 3 bear passengers 「乗客を運ぶ」

例 4 bear the noise 「その騒音に耐える」 (=tolerate=endure)

(5)bill ゴロ「法制止」(「数字が書いてある紙」のイメージ)

- ①法案②請求書③紙幣

例 1 pass the bill 「法案を可決する」

例 2 pay the bill 「その請求書を払う」

例 3 a ten-dollar bill 「10 ドル紙幣」

(6)but ゴロ 「スギちゃん除く」①～にすぎない②～を除いて  
例 1 He is but a kind. 「彼は子供にすぎない」  
例 2 everybody but you 「君を除いて全員」  
\* 1 前置詞の but は直前が all, every, no など 100 か 0 % 表現  
I met three people but you.(×) (but を except に)

(7)capital ゴロ 「王死守」(cap 「頭」をイメージ)  
①大文字②資本③首都  
例 1 capital letters 「大文字」  
例 2 raise capital 「資本を集め」  
例 3 an old capital 「古都」

(8)case ゴロ 「じじい歌手」  
①事実②事件③患者④主張  
例 1 That is the case. 「それは事実だ」(be the case で定型表現)  
例 1 murder cases 「殺人事件」  
例 2 a case of a flu 「インフルエンザの患者」  
例 3 make a case for~ 「～に賛成の主張をする」

(9)character ゴロ 「もっと成果」(カタチにするイメージ)  
①文字②登場人物③性格  
例 1 Chinese character 「漢字」(kanji と書くのは避けたい)  
例 2 the leading character 「主役」  
例 3 national character 「国民性」

(10)charge ゴロ 「リョウタ告訴せい！」  
①料金②担当③告訴する④請求する  
例 1 free of charge 「料金無料」  
例 2 in charge of the case 「その事件を担当する」  
例 3 charge him with malpractice 「医療過誤で彼を告訴する」  
例 4 charge him one dollar 「彼に 1 ドルを請求する」

(11)command ゴロ 「網雨」(「見下す、見下ろす」イメージ)

①操る②見下ろす③集める④命令する

例 1 command English 「英語を操る」(英語を下に見ている)

例 2 command a nice view 「素敵なお眺めを見下ろす」

例 3 command respect 「尊敬を集めること」

\*下々の mind を簡単にコントロールするイメージ

(12)company ゴロ 「いなきゃ」(語源は「パンと共に食べる者」)

①一緒にいること②仲間③客

例 1 I like[enjoy] his company. 「彼と一緒にいるのが好き」

(like[enjoy]one's company で定型表現)

例 2 A man is known by the company he keeps.

「付き合っている仲間をみればその人がわかる」

例 3 I have company today. 「今日来客がある」

(13)concern ゴロ 「おかん不受」(気持ちの関わりを持つ)

①思いやり(for)②関係する(with)③不安(about)④重要(of)

例 1 concern for the weak 「弱者への思いやり」

例 2 be concerned with the crime 「その犯罪に関係している」

例 3 concern about the future 「将来への不安」

例 4 of concern 「重要である」(「~を持っている」の of)

(14)cover ゴロ 「スマホ」(覆うイメージ)

①進む②まかぬ③報道する

例 1 cover the distance 「その距離を進む」

例 2 cover the expense 「その支出をまかぬ」

例 3 cover the case 「その事件を報道する」

(15)deal ゴロ 「大量図書」①大量の②取引③処理する

例 1 waste a deal of water 「大量の水を浪費する」

例 2 make a deal 「取引をする」

例 3 deal with the issue 「その問題を処理する」

(16)degree ゴロ 「音程ガクッ」 ①温度②程度③学位

例 1 at zero degrees 「0度で」

例 2 to some degree 「ある程度」 (=to some extent)

例 3 earn the degree 「その単位を取る」

(17)drive ゴロ 「和尚借りた」(鞭で打つイメージ)

①追い払う②衝動③駆り立てる

例 1 drive away dogs 「犬を追い払う」

例 2 the drive to run 「走りたいという衝動」

例 3 drive him mad 「彼を怒らせる、怒るように駆り立てる」

(18)even ゴロ 「僅差で even」 ①均等②さらに③～でさえ

例 1 even distribution 「均等な分配」

例 2 even better 「さらによりよい」 (even+比較級)

\* even=still 比較級は「さらに～」で負けた方もハイレベル

much=by far=a lot 比較級は「ずっと」で差が激しい

He is even smarter than you. 「君よりさらに彼は賢い」

He is much smarter than you. 「君よりずっと彼は賢い」

(19)exercise ゴロ 「餅売れん」 ①用いる(行使する)②運動③練習

例 1 exercise reason 「理性を用いる(行使する)」

(20)fine ゴロ 「駒場問題なし」 (②は finance から)

①細かい②罰金③問題ない

例 1 fine particles 「細かい粒子」

例 2 pay the fine 「その罰金を払う」

例 3 That would be fine. 「それで問題ないだろう」

\* I'm fine. も 「特に君に報告するほどの問題はない」

(21)given ゴロ 「IKKO 奈良」(条件を与えられ固定化される)

①一定の②考慮すると③～ならば

例 1 within given time 「一定の時間内に」

例 2 given his age 「彼の年齢を考慮すると」

例 3 Given (that)you are correct 「君が正しいならば」